

## 令和4年度 苫小牧市における防犯施策の取り組み結果について

※施策番号～「苫小牧市総合防犯計画(令和2年度～令和6年度)」(23ページ)  
第3章計画の推進 2(1)市の取組み ア～カ

## 1) 広報及び啓発活動の実施

「苫小牧市防犯及び交通安全に関する条例」に基づき市は、市民及び事業者の防犯意識の高揚を図るため、関係機関と連携・協働して広報及び啓発活動に取り組みます。

取組事業	令和4年度		担当課	施策番号
	事業概要	事業効果又は結果		
1 犯罪情報等の提供	犯罪発生情報等を、市ホームページ、フェイスブック及びラインや街頭LED広告等で発信し注意喚起するとともに、被害防止対策を防犯だより等に掲載し防犯意識の高揚を図る。	北海道警察本部及び苫小牧警察署のホームページと防犯メール及び庁内で共有する不審電話情報等を基に、市ホームページ、フェイスブック、ラインを都度更新し、特殊詐欺予兆電話への注意を喚起した。また、防犯だよりに具体的な被害防止策等を掲載した。	市民生活部市民生活課 (防犯・交通安全担当)	ア-①
2 防犯出前講座	市内の犯罪認知動向等を基に特殊詐欺や各種犯罪の被害防止について、市民の理解を深めていただく。	老人クラブ等5回、167人を対象に実施した。	市民生活部市民生活課 (防犯・交通安全担当)	ア-②
3 防犯リーダー研修会の実施	町内会・自主防犯パトロール組織等で活動している市民を対象に、地域の防犯対策や青色防犯パトロールに関する研修会を開催する。	令和5年3月15日に、苫小牧警察署生活安全課より講師を招き「なぜ犯罪は起こるのか」「青色防犯パトロール研修」をテーマに開催、30団体から90名が参加した。	市民生活部市民生活課 (防犯・交通安全担当)	ア-②
4 地域防犯啓発パトロールの実施	不審者情報等を基に、青色回転灯を装着した車両によるパトロールを実施する。	庁内関係部署と連携し、不審者通報が続いた地域を重点的に、6日間実施した。	市民生活部市民生活課 (防犯・交通安全担当)	ア-③
5 啓発懸垂幕の掲出	市庁舎の国道側壁面に、啓発用懸垂幕を掲出する。	防犯啓発に関する内容(5種類)を時期に応じて掲出した	市民生活部市民生活課 (防犯・交通安全担当)	ア-③
6 歳末地域安全運動市民集会の実施	年末年始の防犯、交通事故や火災などの被害防止啓発活動として、関係団体と連携して開催する。市民が気軽に参加していただけるように、小学生プラスバンドのコンサートを主体とした集会とした。	令和4年12月13日(火)に文化会館で開催、参加者180名。	市民生活部市民生活課 (防犯・交通安全担当)	ア-③
7 各種イベントでの啓発活動	とまこまい港まつりなど市民が集う各種イベント会場で、防犯啓発活動を実施する。(新型コロナウイルス感染拡大防止のため、状況に応じて実施)	とまこまい港まつり等、縮小して開催されたため、参加を見合わせた。	市民生活部市民生活課 (防犯・交通安全担当)	ア-③

## 2) 防犯に配慮した環境の整備

犯罪を予防し、犯罪の起きにくいまちにしていけるために、見えにくい場所や、侵入しやすい場所の改善など環境の整備に取り組みます。

取組事業	令和4年度		担当課	施策番号
	事業概要	事業効果又は結果		
1 防犯カメラの設置	子ども達が安全かつ安心して通学や屋外活動を行えるように「苫小牧市防犯カメラ設置5カ年実施計画」に基づき設置する。	東開文化交流サロン（8台）、沼ノ端中学校(3台)、豊川3丁目公園(1台)、豊陵公園(1台)、有珠6号公園(1台)ほか 計15台	市民生活部市民生活課 (防犯・交通安全担当)	イ-①
2 街路灯整備事業	夜間における治安維持及び交通安全の確保等を図るため、市民の要望を基に、幹線道路(主に幅員10m以上の市道)に設置する。	令和5年3月末時点で1基を新設、62基を改修した。	市民生活部市民生活課 (地域担当)	イ-②
3 街路灯設置補助事業	夜間における治安維持及び交通安全の確保等を図るため、町内会が生活道路(主に幅員10m未満の市道)に設置する費用の一部を補助する。	令和5年3月末時点で新設22件、改修5件、移設3件の計30件に補助した。	市民生活部市民生活課 (地域担当)	イ-②
4 街路灯の維持管理	委託業者により6ヶ月に1回、市内街路灯の不点調査を実施し、不点街路灯を把握し、速やかに交換対応する。	街路灯を適切に維持管理することにより、安全な交通網を確保し、防犯対策として市民の安全・安心に寄与した。	都市建設部維持課	イ-②
5 防犯に配慮した環境の整備	公園等維持管理業務において、防犯に配慮した樹木の剪定・伐採などを実施する。	樹木を適切に維持管理することにより、公園の死角の減少や道路の見通しの確保など、防犯対策として市民の安全・安心に寄与した。	都市建設部緑地公園課	イ-③
6 公共施設における安全対策	公共施設の新築・改修時に、防犯上危険となる目隠しになる箇所などの解消をはかるよう配慮する。	設計通り公共施設が建設され、防犯上配慮されている	都市建設部建築課	イ-④
7 市営住宅の照明確保	照明の不具合・故障について迅速に対応している。また、一部の住宅において共用部等の照明を蛍光灯からLEDへの更新を行っている。	照明の不具合・故障について迅速に対応している。	都市建設部住宅課	イ-④
8 大型店の防犯対策への協力	大規模小売店舗(売場面積1,000㎡以上)新規出店の際、騒音・交通・防犯等に配慮を求めるための法律「大規模小売店舗立地法」に基づき、市から道へ意見を提出することができる庁内関係課会議を設置し意見を集約する。	令和4年度は大規模小売店舗の新規出店の申請がなく、北海道への意見提出はなかった。	産業経済部商業振興課	イ-⑤

## 3) 市民及び事業者の防犯活動への支援

地域において町内会、老人クラブ、NPO法人等のボランティアによる防犯活動を支援、連携強化を図っていくために、活動の支援に取り組みます。

取組事業	令和4年度		担当課	施策番号
	事業概要	事業効果又は結果		
1 地域自主防犯パトロール組織への支援	町内会等による防犯活動で使われるパトロール用機材として、青色回転灯やマグネットシート等、地域啓発用のぼり等を貸与する。	41団体に、12種類で396点を貸与した。	市民生活部市民生活課 (防犯・交通安全担当)	ウ-①② ③
2 「ながら見守りタイ！」活動の推進	個人がウォーキングや散歩などの日常活動しながら、不審な人物や車両がないか等を気にして、子どもや地域の安全を守る活動。	個人申込161人に加えて、町内会として取り組む5団体110人、計271人の参加者。	市民生活部市民生活課 (防犯・交通安全担当)	ウ-②

#### 4) 学校等における子どもの安全対策

保護者や地域、市、学校等が連携を図り、犯罪の被害から子どもの安全を確保するための取組みを進めます。

取組事業	令和4年度		担当課	施策番号
	事業概要	事業効果又は結果		
1 不審者情報の共有・発信	小・中・高等学校生徒指導連絡協議会と連携して、不審者情報を市のホームページに掲載し、広く市民に注意を促す。	不審者情報は、事件や事故とは異なり報道されることはほとんどない。被害者のプライバシーを保護しつつ情報発信し注意を促す。発生件数や地域、時間帯等の情報を得る機会をつくることができている。	健康子ども部 青少年課	エ-①
2 不審者の侵入防止策の推進	学校内への不審者の立ち入り防止策として、市内全校の来客用玄関にオートロック錠設置を平成30年度をもって完了した。 また、改築・改修事業を実施した学校については、防犯カメラを整備することにより、不審者の立ち入りや事件に対する抑止力を強化する。	職員がインターホン越しに来校者を確認することにより、無許可で学校内に立ち入ることが出来ないため、防犯対策として大いに効果が期待できる。	教育部施設課	エ-①
3 教職員への不審者対応訓練・研修の実施	学校保健安全法に基づき、全ての学校で危機管理マニュアルを作成している。さらに、マニュアルの中に、教職員研修及び対応訓練等も適切に位置付け実施する。	全ての小・中学校（小学校23校、中学校16校）において実施した。	教育部指導室	エ-①
4 防犯マップの作成・更新	防犯、防災、交通安全等に係る安全マップの作成。自身の通学路周辺から始まり、児童生徒の発達段階や地域の実情、学習のねらい等に合わせて行う。	各校で、例えば防犯教室の一場面、生活科や総合的な学習の時間、各教科や特別活動等と関連付けながら工夫して実施した。	教育部指導室	エ-①
5 「子どもSOSの家」の実施	不審人物等から子どもたちを守るために、商店・事業所・一般住宅等、地域の協力をいただき、「子どもSOSの家」ステッカーを貼付する。子どもたちが救助を求めてきた際、子どもの保護と警察への通報を継続して依頼する。	継続して、新規貼付、貼替の協力をいただいた。 中学校区ごとに協力者情報の整理を行った。 ※令和4年度は、実際に「子どもSOSの家」ステッカーを目印に、子どもが助けを求めにきたという情報は無し。	健康子ども部 青少年課	エ-②
6 「子どもSOSカー」の普及	「子どもSOSの家」運動と併せ、市公用車(約200台)に貼付し、子どもが身の危険を感じた時に、公用車で対応できるよう取り組む。	公用車のステッカー貼付を確認し、新規貼付や破損等あれば貼替えを行った。 ※令和4年度は、ステッカーを目印に子どもが助けを求めにきたという情報は無し。	健康子ども部 青少年課	エ-②
7 青色回転灯車両による巡回パトロールの実施	青色回転灯を搭載した車両により市内全域の巡回を継続して実施。子どもの危険行為や自転車・交通マナー、帰宅時刻等の声かけや指導を行うとともに、不審者・変質者から子どもを守る。（各祭典指導を含む）	継続して車両2台体制で巡回し、一昨年から少年指導日より等で「青パトに手を振ってね」を合言葉に周知活動や声かけを行った結果、青パトに手を振ったり、寄ってくる子どもたちが増加している。 令和4年度は、祭典が行われ、会場内の巡回及び会場周辺等の巡回を行った。	健康子ども部 青少年課	エ-②
8 防犯教室の推進	苫小牧警察署等と連携して各小・中学校における防犯訓練・防犯教室を実施する。	全ての小・中学校（小学校23校、中学校16校）において実施した。	教育部指導室	エ-③
9 通学列車における添乗指導	高校生の列車通学時のマナーを中心に、列車添乗や駅周辺での迷惑行為の調査を行い、生徒への声かけや指導（マナー違反や危険行為等）を行う。	新型コロナウイルスの影響により、約3年ぶりに列車添乗を3回実施（8月・11月・1月）。調査の結果、マナー違反や危険行為等トラブルは見受けられなかった。	健康子ども部 青少年課	エ-④
10 青少年の施設利用の実態調査	青少年の健全育成と非行防止の観点から、大型商業施設や公共施設などを中心に利用状況や迷惑行為の有無について聞き取りを実施する。問題がある場合は巡回や学校等との連携により対応する。	巡回と併せて、大型商業施設や公共施設、コンビニエンスストア等の聞き取り調査を行い、関係機関等とも情報交換した。通常巡回で知ることのできない、子どもたちの様子を共有し、状況を把握することができた。	健康子ども部 青少年課	エ-④

	取組事業	令和4年度		担当課	施策番号
		事業概要	事業効果又は結果		
11	特別巡回パトロールの実施	通常巡回の他、夜間巡回、全道立入調査（警察と合同）、各学期末等の巡回（終業式、卒業式等）を行う。その他状況に応じた巡回を行う。	各状況に応じた巡回を行ったが、巡回時には、特に大きな問題は見受けられなかった。	健康子ども部 青少年課	エ-④
12	警察との連携	情報交換や合同巡回を実施する。（夏、冬休み期間を中心にカラオケや、インターネットカフェ等を巡回し、店舗側に理解協力を求める。各種祭典時も連携する。）	日常、各会議、合同巡回等で情報交換等連携を行い、子どもたちへの対応や、問題解決等に努めた。	健康子ども部 青少年課	エ-④
13	防犯グッズの配布	日本マクドナルド㈱より、「子ども110番の家」関連事業への支援の一環として防犯笛の寄贈を受け、小学校新1年生に配布する。	小学校新1年生全員（約1300人）に配布	教育部学校教育課	エ-④

#### 5) 高齢者の安全対策

	取組事業	令和4年度		担当課	施策番号
		事業概要	事業効果又は結果		
1	消費者被害防止講座の実施	架空請求、不当請求、強引な契約、悪質訪問販売、電話勧誘などからの被害を未然防止するため、市内団体・グループ等を対象に出前講座を実施する	専門学校、老人クラブ、地域包括支援センターなどで20回、532名を対象に実施し、消費者被害の未然防止を図った。	市民生活部市民生活課 （消費生活担当）	オ
2	苫小牧市消費者被害防止ネットワーク活動の推進	ネットワーク構成団体と連携し、消費生活に関する情報提供及び消費者教育・啓発活動の推進と適切な相談活動などを通じ、消費者被害の防止に努める	ネットワーク構成団体と協力・連携し、ネットワークニュースの発行や街頭啓発や啓発資材の配布等の実施により、消費者被害の防止を図った。	市民生活部市民生活課 （消費生活担当）	オ
3	苫小牧市認知症高齢者等の見守りネットワーク事業との連携	認知症などにより所在不明となった高齢者等を関係機関が相互に連携し、早期発見及び見守り支援体制を整備し再発防止に努める。	SOSネットワーク対応：16件	福祉部介護福祉課	オ

#### 6) その他の取組

	取組事業	令和4年度		担当課	施策番号
		事業概要	事業効果又は結果		
1	被害者相談窓口の設置	犯罪被害者からの相談を受け、関係機関及び庁内関係課との連携し支援する。	市ホームページ及びポスター掲示により市民への周知を図った。	市民生活部市民生活課 （地域担当）	カ-①
2	市の公共事業等における暴力団排除措置	「暴力団等の排除に関する合意書」に基づき、公共事業等から排除措置を講ずるため、苫小牧警察署に情報照会と排除を要請する。	情報照会なし	市民生活部市民生活課 （防犯・交通安全担当）	カ-②
3	市が行う契約から暴力団の不当介入を排除する措置	「苫小牧市が行う契約における暴力団等排除措置要綱」に基づき、市発注の契約への不当介入を排除するため、苫小牧警察署に情報照会し、入札参加の除外措置等を行う。	令和4年度 282件照会、全て該当なし	財政部契約課	カ-②
4	ときわ、澄川地区への交番新設要望	北海道への重点要望事項として、苫小牧警察署及び道警本部を訪問して要望書を提出する。	令和5年1月30日 苫小牧警察署、同年2月1日 北海道警察本部訪問。	市民生活部市民生活課 （防犯・交通安全担当）	カ-③